事業開始前の様子

事業内容説明写真

梨の花が咲くフワパン県の農村風景



天真爛漫な村の子供たちは小さい時 から農作業や家事を手伝っている。



フワパン県農林局職員から安息香の木の植林と生産の説明を聞く村人達 安息香の木は土壌を選ぶので、フワパン県でも限られた地域でしか見られない。





ラオス・ホアパン県産の安息香は 伝統的な森資源で、その香りの良さ からシャム安息香として知られている。 安息香の木に傷を付け、滲み出る樹脂を 乾燥させてから採取する。



安息香の生産の様子 ナタで7月頃から傷をつける。



安息香の木が育つ山の景色







安息香の木が育つ森の中 安息香の木は高木であるが安息香が 採取できる木は樹齢 6 年~13年 の若木である。

フワパン県、ヴィエンサイ郡でのマカオの木の植林

マカオの木の苗木 陸稲が栽培されている焼畑での植林





植林をする村人



ラオスヒノキや安息香の木などサムヌアの苗木圃場



マカオの木の実からはジーゼルエンジンの燃料となる植物油が採取できる。 ヤトロハとは違い高木である。 植林された焼畑は再生林として復活し 緑地となる。

フワパン県、サムヌアでの村人達への養蜂業の講習会 ベトナムの BRDC(養蜂研究開発センター)講師による室内での授業





屋外での蜂群を使っての実施授業





今回の養蜂は西洋蜜蜂ではなくて 日本蜜蜂と同種の東洋蜜蜂を使っている。 ラオスとベトナムは陸続きで同種の蜂が 生息する。

東洋蜜蜂は性質が大人しく、飼い易く 大きな投資も不要で、副業として適して いる。